

科目名 Course Name		開講年次	開講学期	曜日・時限
地域観光論（卒業研究） Area Tourism		2年	後期	別途、時間割参照
単位数	授業の形態	授業の性格		履修上の制限
2単位	講義	選択	(観光ビジネス実務士必修科目)	観光ホスピタリティフィールドの 2年生対象
当該科目の理解を促すために受講しておくことが望まれる科目				
観光ビジネス実務総論				
同時に履修しておくことが望まれる科目				
国際観光論				
担当者に関する情報				
氏名	研究室の場所	オフィスアワー		電話番号・メールアドレス
斎藤 清	本館2階	火曜日・水曜日・木曜日		授業中に指示します
授業の概要				
観光立国に向けた動きが活発化している現在、地域における観光を核とした活性化の達成は喫緊の課題となってきた。その課題を達成していくためには、地域の現状を把握し、地域の特徴に合わせた観光振興を図っていくことが求められる。地域活性化のためには、経済的、物理的な豊かさだけにとどまらず、人々が自ら住む地域に誇りと愛情を持ち、地域外の人々との交流を通じて、郷土の素晴らしさを再認識することが重要であるが、この講義では観光の視点からその重要性を確認していく。				
授業の目標				
①社会構造の現状と変化を理解し、日本の将来像を述べるができるようにする。 ②各地域の社会動向を把握し、歴史、文化、習慣と観光資源の地域の現状を、身近な事象として捉えることができるようにする。 ③地域の誇れる伝統や街並みなどを観光振興に活かす方法を考えることができるようにする。				
授業の方法				
全国各地域の地域活性化に向けた取り組みの成功事例、失敗事例等を検証しながら、グループワークを通じて、課題を見つけ出す方法で進める。 また栃木県や佐野市の観光の現状や課題およびその解決策等の検討を行うと共に、卒業研究として各自で地域活性化のアイデアを考え発表する。				
学習の成果（学習成果）				
①自分の住む地域の観光資源を発掘し、観光振興に活かす施策を考えることができる。 ②日本各地の新しいツーリズムの取り組みを説明することができる。				
授業のスケジュールと内容				
第1回目	オリエンテーション（講義の進め方）			
第2回目	観光政策と観光行政			
第3回目	観光のマーケティング			
第4回目	観光と地域振興の具体的事例① 新幹線開業を受けた北陸3空港の連携と外客増加			
第5回目	観光と地域振興の具体的事例② 東京ディズニーリゾートと三鷹の森ジブリ美術館との経営比較			
第6回目	観光と地域振興の具体的事例③ 農業における教育旅行の活動とその課題～酪農教育ファームを中心として～			

第7回目	地域振興とイベントコンベンション①（イベントコンベンションとは）	
第8回目	地域振興とイベントコンベンション②（ECの仕組み・開催効果・市場規模）	
第9回目	栃木県と佐野市の観光に関する研究①（栃木県のインバウンド受入れについて①）	
第10回目	栃木県と佐野市の観光に関する研究②（栃木県のインバウンド受入れ②と佐野市の観光の現状について①）	
第11回目	栃木県と佐野市の観光に関する研究③（佐野市の観光の現状について②）	
第12回目	≪卒業研究≫観光で地域活性化をするためには、今何をすべきか（趣旨説明と各自テーマ検討）	
第13回目	≪卒業研究≫観光で地域活性化をするためには、今何をすべきか（各自データ作成作業①）	
第14回目	≪卒業研究≫観光で地域活性化をするためには、今何をすべきか（各自データ作成作業②）	
第15回目	≪卒業研究≫観光で地域活性化をするためには、今何をすべきか（各自発表）	
事前・事後学習	事前：授業Scheduleに合わせて、参考となる文献や資料を調べてから授業に臨む事 事後：授業での不明点は、次回授業までに調べ理解しておく事	
成績評価の方法と基準		
	評価の領域	割合
		評価の基準
授業参加態度	20%	授業に集中し、ノートをとっている。不明なことがあれば積極的に質問する。自分の意見を述べるなどが評価の対象となっている。S評価の基準：上記参加態度を全て満たすもの。
レポート		
調査報告書		
小テスト		
試験	40%	観光政策と観光行政や、地域振興の具体的事例、地域振興とイベントコンベンション等について、十分な理解ができているかを確認する。
発表内容（態度含む）	40%	第15回目に地域活性化のための観光アイデアを発表する。S評価の基準：課題の本質と学習成果が十分にまとめられた発表となっていること。
その他		
教科書と参考図書		
プリントなどで対応		
履修上の留意点・ルール		
<p>●実務経験（職種：旅行業（国内旅行業務）、職歴：通算31年）  3分の1以上欠席した場合は、理由の如何を問わず単位認定しない。  遅刻厳禁。私語は慎むこと。授業途中での無断退出厳禁。携帯電話使用禁止。飲食厳禁。</p>		